

# 令和9年度派遣 ダイヤモンド高校長期交換留学 Q&A

## ダイヤモンド高校長期留学事業について

Q1 『ダイヤモンド高校長期交換留学』とはどのようなものですか？

A1 千歳市と姉妹都市であるアンカレジ市にあるダイヤモンド高校が始めた事業です。夏休みが終わる8月中旬から、次の夏休みが始まる5月下旬までの約9か月半、一般家庭にホームステイしながらダイヤモンド高校に通います。ダイヤモンド高校では「日本語イマージョンプログラム」という日本語による授業を導入しており、その授業を含めて一般の学生と同じ授業を受けることができます。

Q2 日本語イマージョンプログラムとは何ですか？

A2 千歳市との姉妹都市提携を締結後に、アンカレジ学区が開設した日本語教育プログラムです。生徒はサンドレイク小学校併設の幼稚園の年長または同校1年生から参加し、ミアーズ中学校を経てダイヤモンド高校卒業までの13年間日本語を学ぶほか、理科や社会など一部の教科を日本語で学ぶなどします。アンカレジ学区には他にもスペイン語やドイツ語、中国語などのイマージョンプログラムがありますが、日本語イマージョンプログラムは全米で最も早く始まりました。ダイヤモンド高校長期交換留学事業は、このプログラムで学んだ学生の新たなステップとして2023年に始まりました。

Q3 選考試験はありますか？

A3 はい、あります。作文と面接（日本語と英語）です。

Q4 留学期間の単位はどうなりますか？

A4 当事業では留学先での単位取得が認められるため、2つの選択肢があります。

(1) 留学先で取得した単位を認定してもらい進級する。

3年生の8月から留學生した場合は翌年5月に卒業生として、2年生の8月に渡航とした場合は翌年5月に3年生として帰国します。

(2) 留年して帰国後は1学年下の生徒と学ぶ。

3年生の8月から留學生した場合は翌年5月に3年生として、2年生の8月に渡航とした場合は翌年5月に2年生として帰国します。

Q5 募集時に3年生ですが、応募できますか？

A5 渡航時に千歳高校に在籍している学生が対象です。3年生は翌年8月には卒業していることになるため応募できません。

Q6 ACES（エイシス）って何ですか？

A6 当事業の留学生は、学生ビザ（F1ビザ）ではなく交流訪問者ビザ（J1ビザ）を発行してもらうことができます。ACSE（American Cultural Exchange Service）は、J1ビザの申請に必要な書類を発行する米国の非政府・非営利団体で、当事業の交換留学生はACESを通して手続きを行なう必要があります。

ACES ウェブサイト <https://www.explorettheworld.org/>

Q7 参加するにはどの程度の英語力が必要ですか？

A7 当事業では、留学するために到達すべき基準スコアは設定されていませんが、英語で授業を受けるためには、英検2級あるいは同等以上の英語力を有することが望ましいです。9か月半という限られた時間を有効に使うためにも、留学生に選ばれたら渡航日まで、できるだけ英語力（特に語彙とリスニング）を向上させておくことをお勧めします。

Q8 ダイヤモンド高校からの留学生のホストファミリーとなる場合、期間はどのようになりますか？また、必ず受け入れなければならないのですか？

A8 ダイヤモンド高校から来る学生は8月下旬～7月下旬の約11か月間、留学します。ホストファミリーなることは必須ではありませんが、極力引き受けていただけるようお願いしています。11か月の受入れが難しい場合は期間について相談に応じます。ホストファミリーになると月額2,000円(税込)が支給されるため、留学費用の負担が軽くなります。また、お子さんを送り出したご家庭でも国際交流を経験することで、帰国後にお互いの経験を分かち合う楽しみも生まれます。

Q9 国際教養科です。交換留学に応募して落選した場合、12月のカナダ語学研修に参加することはできますか？

A9 交換留学の選考結果は9月末日までにお知らせする予定です。交換留学とカナダ語学研修の両方に申し込み、交換留学生に選ばれた場合はカナダ語学研修をキャンセルする方法もあります。その時点でキャンセル料が発生するかは、千歳高校へお問合せください。

#### 渡航準備について

Q10 航空券の手配は自分でやるのですか？

A10 はい。当協会では旅行会社を紹介することもできます。

Q11 アンカレジへの移動の際は誰かが同行しますか？

A11 いいえ、往復の移動は1人で行なっていただきます。

Q12 ビザの申請や現地の保険はどうすればよいですか？

A12 まずはACESからPDFで書類が届きますので、必要事項を入力し、当協会事務局を

通して ACES に提出します。費用は現地の保険代を含めて 4,995 ドル（令和 8 年 5 月現在）です。ACSE から書類（DS-2019）が届きましたら、以降の申請手続きは留学生本人と保護者で行なっていただきます。

Q13 渡航前に接種が必要なワクチンの種類は何ですか？どこで接種できますか？

A13 ワクチンの種類はアンカレジ学区で定められており、A・B 型肝炎、ジフテリア、破傷風、百日咳、ポリオ、麻疹、風疹、おたふく風邪 (MMR)、およびツベルクリン反応または IGRA となっています（令和 8 年度 5 月現在）。対応できるクリニックは限られており、当協会事務局で把握している機関は札幌にあります。また、間隔を空けなければならないため、接種開始から完了まで半年ほどかかります。派遣が決定したらすぐに準備に取りかかりましょう。

Q14 渡航前のオリエンテーションではどのようなことをするのですか？

A14 ACES へ提出する書類の作成方法やワクチン接種の案内、ホームステイで気を付けたことなどをお話しします。当協会事務局（千歳市役所内）にて計 5 回程度を予定しています。

Q15 助成金などはありますか？

A15 派遣留学生に対して協会から 50 万円の助成があります。また、授業料、教科書代、ホームステイ代（3 食付）はかかりませんので、私費留学と比べると大変安く済みます。

Q16 留学費用はどのくらい必要ですか？

A16 募集要項の「主な必要経費（概算）」をご参照ください。

#### ダイヤモンド高校での学校生活について

Q17 学校間の単位交換はありますか？

A17 はい、必要な単位をダイヤモンド高校で履修すれば、千歳高校での単位として認定されます。

Q18 ダイヤモンド高校での授業はどのようなものですか？

A18 選択科目が多く、日本語イマージョンプログラムの教科も含まれます。授業の選択方法については、現地到着後にダイヤモンド高校からお話しします。

Q19 ダイヤモンド高校に日本語を話す先生や留学生はいますか？

A19 日本語イマージョンクラスの先生は日本語を話します。また、日本人のインターン生（就業体験生）もいます。日本からの留学生は令和 5 年度に一人いましたが、その後はいないようです。

Q20 どのように学校へ通うのですか？

A20 基本的にスクールバスもしくはホストファミリーの送迎になりますが、中には徒歩や自転車で通う学生もいるようです。

Q21 昼食のお弁当はどうなりますか？

A21 ホストファミリーが用意してくれたものを持って行くか、家にある食材を使って自分で用意します。学校のカフェテリアを利用した場合は自己負担となります。

Q22 制服はありますか？

A22 ダイヤモンド高校では私服通学です。指定された靴やジャージなどありません。

### ホームステイについて

Q23 ホームステイ先はどのような家庭ですか？

A23 渡航の2か月前までにお知らせします。ダイヤモンド高校の先生と「友の会（日本語イマージョンプログラムで学ぶ生徒の保護者会）」が選んだアンカレジ市内の家庭になります。

Q24 ホストファミリーの家族構成など指定できますか？また、アレルギーがある場合はどうしたら良いですか？

A24 家族構成の指定はできません。動物アレルギーの場合は基本的にペットのいない家庭を手配します。食物アレルギーは事前にホストファミリーにお知らせします。

Q25 ホストファミリーと相性が合わない場合はどうなりますか？

A25 まずはホストファミリーにどうしてほしいかを直接を伝え、解決しない場合は現地のコーディネーターかダイヤモンド高校の先生に相談してください。状況によってはホームステイ先を変更することも可能です。

### 現地のお金について

Q26 現地で使うお金はどうしたら良いですか？

A26 デビットカード、クレジットカード、キャッシュパスポート（海外専用プリペイドカード）などの方法がありますので、渡航前に準備してください。また、万が一に備えて1～2か月分の生活費は現金（米ドル）で持参すると安心です。

### 生活について

Q27 現地の治安はどうですか？

- A27 米国内の他地域と比較して特に危険ということはありませんが、日本と比べると治安は良くありません。ホームレスが多く、避けた方が良いエリアもありますので、ホストファミリーや学校からあらかじめ情報を入手すると良いでしょう。当プログラムでは、未成年だけの夜間の外出や飲酒、喫煙などを固く禁じており、ルールを守ることでリスクを避けることができます。しかし最終的には本人の意識と行動が最も重要になるため、出発前に家族でよく話し合うことをお勧めします。
- Q28 留学中、病気やケガなど何か緊急なことが起こった場合はどうすればいいですか？
- A28 ホストファミリー、現地のコーディネーター、日本人のスタッフとの連携が取れていますので、そのうちの誰かに知らせてください。
- Q29 留学期間中、日本に一時帰国はできますか？
- A29 基本的には不可ですが、やむを得ない事情がある場合のみ可能です。
- Q30 現地で使用する携帯電話はどうしたら良いですか？
- A30 お持ちのスマートフォンの契約内容によって、現地で契約するか日本のものを使い続けるかご検討ください。
- Q31 留学中に米国内の他都市へ旅行することはできますか？
- A31 単独での旅行は不可ですが、ホストファミリーと一緒になら基本的に問題ありません。なお、危険を伴うアクティビティ（ハングライダーなど）は禁止されていますのでご注意ください。
- Q32 留学中に家族が現地へ遊びに行っても良いですか？
- A32 ホームシック予防のため、1学期中は家族や友人が現地を訪れることはできません。2学期以降（渡航翌年の1月以降）であれば、事前にACESの了承を得ることで訪問が可能です。
- Q33 プログラム終了後、しばらくアメリカに滞在できますか？
- Q33 当プログラムでは学期終了後10日以内に帰国することとされています。また、日本の学校へ復帰するタイミングや受け入れてくれているホストファミリーの都合もあるため、帰国日については双方の学校に相談して決めてください。